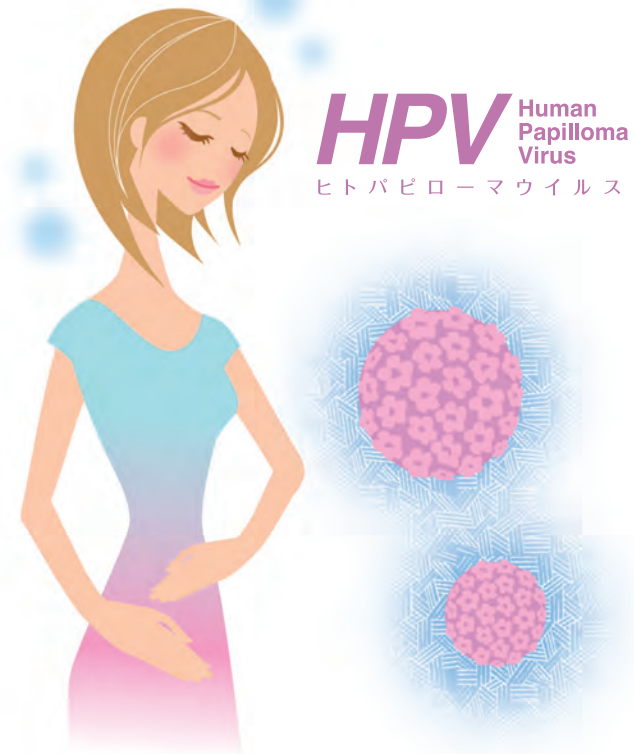


子宮頸がん啓発キャンペーン
女性のキレイと健康を考える
「未来への約束」
テーマ／ーもし異常が見つかったらー



監修／県立中央病院副院長・産婦人科医 中野隆



がんになる前に異常を見つける

子宮頸がんは、性交渉によって子宮の出口である頸部にヒトパピローマウイルス（HPV）が感染することで発症します。HPVは性体験のある女性の80%以上が感染するありふれたウイルスで、ほとんどは免疫の働きで自然に排除されます。ごくまれに排除できず感染が持続した場合、数年かかってがんになるといわれています。

子宮頸がん予防ワクチン接種が今年4月から定期予防接種となりましたが、ワクチンですべてのHPV感染は防げません。セクシャルデビューしたら、検診が不可欠です。子宮頸がんは発症まで時間がかかるため、検診でがんになる前に細胞の異常を発見でき、早期発見できれば子宮を温存して治療できます。しかし進行すると子宮を含めた広範な摘出手術が必要です。

早期発見で治療後に妊娠・出産

子宮頸がんの治療法には、主に手術療法、放射線療法、化学療法（抗がん剤治療）があり、がんの進み具合や年齢、合併症の有無などに応じて選択されます。

細胞ががんになる前の状態（異形成）、またがん細胞が子宮頸部の粘膜表面にとどまっているごく初期のがん（上皮内がん）の場合は、子宮頸部を高周波メスやレーザーで円すい形に取り除く手術（円すい切除）で治療できます。

入院は数日ですみ、術後出血は多少ありますが、後遺症の心配はほとんどありません。子宮を温存することができ、術後の妊娠・出産も可能です。ただし頸部を一部切り取るので、早産リスクが若干高まるといわれています。術後に妊娠した場合は、主治医に報告・相談することが必要です。

進行すると広範な摘出手術が必要

がんが子宮頸部に深く浸潤したり、頸部を越えて周囲へ広がると、子宮だけでなく、膣の一部、卵巣・卵管、周囲の靱帯、リンパ節などを含む広範な摘出手術（広汎子宮全摘出）が必要になります。

子宮を摘出すれば、妊娠・出産はできなくなります。手術に伴って起きる排尿・排便障害や、リンパ浮腫、膀胱炎、直腸炎など、つらい後遺症と生涯向き合うことにもなります。また転移や再発に備えて、定期的な検査・通院が欠かせません。

大切な子宮と命を守るには、円すい切除できる段階までに細胞の異常を見つけることが必須であり、検診を受けていれば見逃すことはありません。早期発見のために、定期的な検診をぜひ習慣にしましょう。

※【リンパ浮腫】リンパ節の切除などにより、リンパの流れが滞り起きるむくみ。マッサージや弾性ストッキングなどでケアが必要です。

カラダを守ること、ユメを守ること。

Voice

体の内側にも目を向け、もっと自分を愛して。



松本 陽子さん
NPO法人「愛媛がんサポートおれんじの会」理事長
NHK松山放送局で医療分野の番組を制作していた33歳のとき子宮頸がんを発症。その後、患者・家族会「愛媛がんサポートおれんじの会」設立。安心できるがん医療の実現を願い、さまざまな活動に取り組んでいる。

子宮頸がんが見つかったのは33歳のときでした。子宮をすべて摘出する手術と抗がん剤治療を受けました。同世代の友人が仕事に恋愛にあるいは子育てに輝いているときに、病院の小さなベッドの上で半年近くを過ごす必要になりました。

子宮頸がんのことを知識では知っていましたが、自分のこととして考えたことはなく検診も受けていなかったのです。自分のことをもっと大切に考えていたら…。

あれから10年以上が経過し、現在では子宮頸がんの原因や、その対処法などが明らかになってき

ました。子宮頸がんは誰もが発症する可能性があります。しかし早期に発見できれば、大切な子宮をなくさずにすむのです。ワクチン接種の意味や、検診の大切さを知ってください。また万一のときの経済的な備えについても、健康なときから考えておくことが大事だと思います。

わたしのような後悔をしないで済むように、もっと自分自身を大切に、愛してあげてほしいと願っています。



今、親子一緒にいる、それは検診のおかげ。

Mさん（41歳／富山市在住）

7年余り前、身近に体調を崩す人が多かったことから、健康診断を受けることにしたMさん（当時34歳）。念のため婦人科も…と受けた検診の結果、思いもよらぬ子宮頸がんを告げられました。「とにかく驚き、ショックでした。知識もなく、私は死ぬの？と、いろいろ考え悩みました。」

精密検査の結果、がんは初期（Ia1期）で、円すい切除術で子宮を温存して治療できるとわかりました。「まだ30代でしたし、小学生だった子どもたちのためにも元氣になりたいと思いました」。手術は1時間足らずで、入院は3日間。家で療養した後、ほどなく

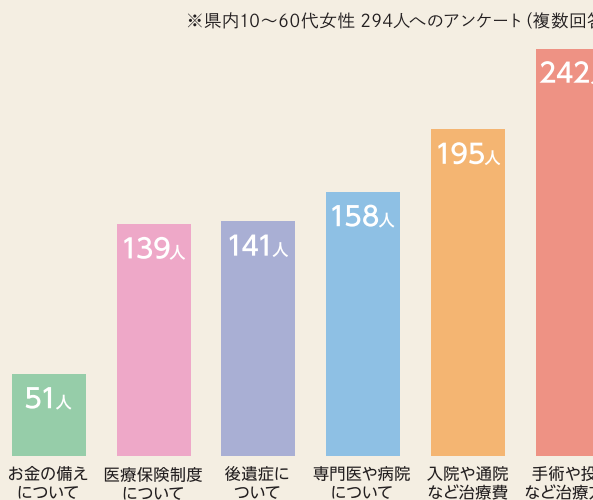
仕事に復帰して、その後は定期的に検査を受けながら、後遺症もなく生活しています。「見つかって、幸運でした」と実感を含めて言います。「娘は高校1年のとき、市の補助を利用して子宮頸がん予防ワクチンを接種しました」とのこと。また治療後は友人たちに検診を勧めるようになりました。

笑顔で体験を語りつつも、「あのとき検診を受けていなかったら、今、子どもたちと一緒にいらなかったかも…」とMさん。「より多くの女性に検診を受けてほしい」と心から願っています。

富山の女性たちに聞きました

もしがんなったら、あなたが知りたい情報は？

もし子宮頸がんや乳がんなど女性特有のがんになったら、「手術や投薬など治療方法」を知りたい人が8割以上、次いで「入院費や通院費など治療費」を知りたい人が7割近く、さらに専門医、後遺症、医療保険制度など幅広く情報が求められています。今回の紙面ではアンケートで関心の高かった「治療費」など、病気とお金について取り上げます。



納得して治療を受けるために。
セカンドオピニオンとは…

セカンドオピニオンとは、診断や治療方法などについて、現在診療を受けている担当医とは別の医療機関の医師に“第2の意見”を求めることです。

富山県内のがん診療連携拠点病院等の相談支援センター（右記一覧）では、セカンドオピニオンを受けられる医師を紹介しています。また同センターでは、がんに関するさまざまな質問や相談に応えており、がん患者や家族が気軽に安心して利用できます。最近では医療保険にも医療相談やセカンドオピニオンサービス付きのタイプが増えています。経済的な備えに加えて、納得のいく治療を望む患者の思いに応える保障が目まぐるしく注目を集めています。

富山県のがん相談支援センター	
富山県立中央病院 医療相談室	☎076-424-1531（内線9307、9120）
黒部市民病院 がん相談支援センター	☎0765-54-2211（内線1965、1968）
富山労災病院 がん相談支援センター	☎0765-22-1354（直通）
富山市民病院 がん・なんでも相談室	☎076-422-1112（内線2560）
富山大学付属病院 がん相談支援センター	☎076-434-7725（直通）
厚生連高岡病院 がん相談支援室	☎0766-21-3930（内線2822）
高岡市民病院 がん相談支援センター	☎0766-23-0204（内線2119）
市立砺波総合病院 がん相談支援センター	☎0763-32-3320（代表）
富山赤十字病院 がん相談支援センター	☎076-433-2222（内線2263）
済生会高岡病院 がん相談支援センター	☎0766-21-0570（内線1109）

トークセッション

人気女性ファッション誌「MORE」編集長とあの人気ヘアメイクアップアーティストが来場!!

参加者募集

- 参加者には嬉しい特典がいっぱい!!
- 参加者全員に富山第一ホテルの特製スイーツをご提供!
- 豪華賞品があたるお楽しみ抽選会も開催!

7月6日（土）参加無料
開場13:00 開会13:30～（16:00頃終了予定）

会場／富山第一ホテル3階（富山市桜木町10-10）
定員／400名

ぜひ、お友達やご家族とお誘い合わせの上
ご参加ください!!

申し込み・応募方法について

参加をご希望の方は、WEBまたは、ファクス、はがきで
①氏名 ②郵便番号・住所 ③電話番号 ④年齢
⑤同伴者名（複数可） ⑥同伴者年齢を明記の上、
下記までお申し込みください。

WEBの場合 オフィシャルサイト「未来への約束」から
参加申し込みができます。

FAXの場合 ☎076-445-3338
はがきの場合 〒930-0094 富山市安住町2-14
北日本新聞社営業局「未来への約束」
トークセッション係

応募締切 6月25日（火）

※なお、応募多数の場合は抽選とし、当選者のみに
応募券を送付します。

個人情報の取り扱いについて
ご応募いただきました個人情報は当事業の連絡、ご案内のみに利用し、
ご本人の同意なく目的以外での利用および第三者への開示はいたしません。

PROGRAM

13:30 第1部 トークショー「キレイになりたいすべての女性へ」
濱田マサルさん × 杉野潤子さん



ヘアメイクアップアーティスト、通称「マチャルメイ」で人気モデルやタレントからの指名も数多く、雑誌やCMだけでなくイベント出演など、多方面にて活躍中。

富山県小矢部市出身。'86年（株）集英社入社以来、LEE、MORE、BAILEYと一貫して女性誌の編集に携わる。2007年よりMORE編集長。

【休憩】スイーツタイム

14:50 第2部 トークセッション

吉本裕子さん（吉本レディースクリニック 院長）
松本陽子さん（NPO法人 愛媛がんサポートおれんじの会 理事長）
権藤延久さん（ファルコバイオシステムズ執行役員・医師・学術顧問 バイオ事業推進部長）
黒田尚子さん（フィナンシャルプランナー）

MC・コーディネーター 田島悠紀子さん（フリーアナウンサー）

お楽しみ抽選会
終了予定

お問い合わせ先
北日本新聞社営業局企画事業部

☎076-445-3326（平日9:00～17:00）

キャンペーンの内容は公式サイトでもご覧いただけます。

北日本新聞 未来への約束

http://woman.kp-kikaku.jp

北日本新聞ウェブ新聞
webunからもアクセスできます。

主催／北日本新聞社
後援／富山県、富山県教育委員会、富山県医師会、富山県産婦人科医会、富山県小児科医会、
富山県商工会議所連合会、NPO法人 女性特有のガンのサポートグループ オレンジティ

協賛社

